

コース名		科目名		選択科目名		対象学年		
良医の礎		リベラルアーツ選択Ⅰ		身の回りの化学物質とその生体への影響		1		
開講学期		科目責任者		選択科目責任者				
2 学期		西松 伸一郎		守屋 文夫				
目的								
本科目は、医師になるための基本的な資質を身につけるとともに、DP3 達成のための基礎知識、特に救急医学と法医学で取り扱う機会の多い、身近な化学物質による中毒の学修基盤となる知識を身につけることを目的とする。								
授業到達目標								
1. 急性中毒を発症し易い、日常生活の中の化学物質を列挙できる。(想起) 2. 各化学物質の作用機序の概要を説明できる。(解釈) 3. 身体症状から関与した化学物質の推定ができる。(問題解決)								
授業計画								
回数	月日	曜日	時限	区分	担当者	所属	授業内容	コアカリ項目
1	9/18	水	1	講義	守屋	非常勤/医福大	殺虫剤	PS-03-05-08
2	9/25	水	1	講義	守屋	非常勤/医福大	除草剤	PS-03-05-09
3	10/ 2	水	1	講義	守屋	非常勤/医福大	重金属	PS-03-05-09
4	10/ 9	水	1	講義	守屋	非常勤/医福大	一酸化炭素・硫化水素	PS-03-05-08
5	10/16	水	1	講義	守屋	非常勤/医福大	酒・タバコ	PS-03-05-08
6	10/23	水	1	講義	守屋	非常勤/医福大	植物毒	PS-03-05-09
7	10/30	水	1	講義	守屋	非常勤/医福大	キノコ毒	PS-03-05-09
8	11/ 6	水	1	講義	守屋	非常勤/医福大	動物毒	PS-03-05-09
評価方法								
[レポート]80% (講義ごとに要点のまとめを提出してもらう。) [出席状況 (受講態度)]20% (出席状況と受講態度を評価に反映する。) [評価方法]出席・受講態度評価、論文・レポート								
課題 (試験やレポート等) に対するフィードバックについて								
3. 課したレポートは、原則、コメントをつけて返却する。								
教科書								
特に指定しない。								
参考書								
ISBN-9784260052207, 臨床中毒学, 上條吉人, 医学書院, 2023								
準備学習 (予習・復習等)								
予習: 参考書等に記載されている各講義項目の化学物質に関する事項に目を通しておくこと。 復習: 各講義後に要点を整理すること。 予習・復習ともに1時間程度の学習を要する。								
講義についての注意事項								
学習効果を高めるため、適度に中毒事例 (自験例) を織り交ぜながら講義を進めます。不明な点があれば、講義の途中でも遠慮なく質問してください。								
昨年度からの変更点・改善項目								
8 回の授業で効果的に学修できる授業内容に変更した。								
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連について								
当該授業科目は、ディプロマポリシーに示す「医師になるための基本的な資質・能力」の向上と「医学知識と医療技術の修得」につながる。								
ナンバリング								
GLLA108								